



University of Miyazaki
Faculty of Engineering

エネルギーと農資源を循環する地産地消システム



電気電子システムプログラム 教授 西岡 賢祐

出身:京都府舞鶴市
趣味:ノンアルコールビール
講義:半導体工学Ⅰ、力学、等
専門:半導体工学

ひとこと

学生時代の経験はとても貴重で、その後の人生に必ず活かしてきます。世界レベルの研究開発を経験し、大学で飛躍しましょう！

研究内容

太陽光発電システムの新しい使用方法の開発

- 営農型太陽光発電(農地の上の太陽光発電)
農場の上に太陽光発電を設置し電気を得て、その下で農作物を効率的に栽培することのできるシステムの開発
- 車載太陽光発電(電気自動車の屋根の太陽光発電)
電気自動車の屋根やドアに太陽光発電を設置し、太陽エネルギーだけで電気自動車のエネルギーを賄うことのできるシステムの開発



営農型太陽光発電



車載太陽光発電

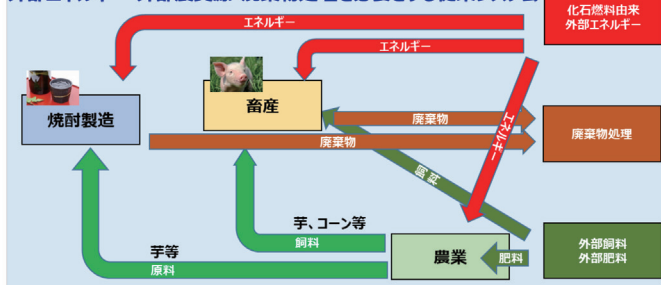
エネルギー・農資源循環システムの開発

- 農畜産廃棄物の高効率エネルギー変換技術の開発
- 太陽光発電と農畜産廃棄物由来エネルギーで地域で使用するエネルギーを賄う地産地消システムの開発

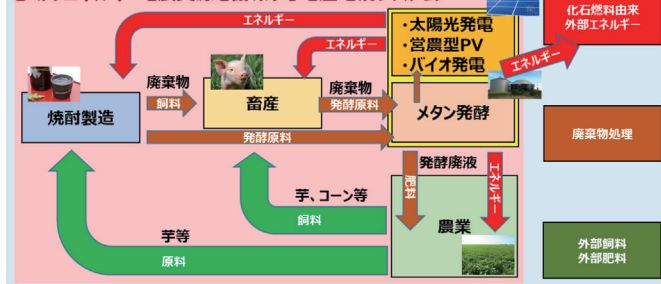
この研究はどう役立つ？研究から学べることは？

- 再生可能エネルギーは世界中で必要とされており、エネルギーと食物を自給する持続可能な社会の実現に役立ちます。
- 今後、世界中で必要とされる再生可能エネルギーを基礎から学び、経験できます。また、多くの企業との共同研究を実施しており、実用化をめざす研究姿勢が身につきます。

外部エネルギー・外部農資源・廃棄物処理を必要とする従来システム



地域のエネルギーと農資源を循環する地産地消システム



これまで外国からの輸入に頼ってきた化石燃料や農資源を国内で循環する強靱な産業システムを実現する！